



株式会社 キングジム

2024年 6月期

第3 四半期決算要約資料

2024年4月26日（金）

## ■ 連結損益計算書概要

2024年6月期第3四半期は、減収減益。

売上高：前年同期に対して1.2%減。

各利益：営業利益、四半期純利益で損失を計上。

(単位：百万円)	2023年6月期第3四半期		2024年6月期第3四半期		対前年同期	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
■ 売上高	28,935	100.0%	28,590	100.0%	-345	-1.2%
■ 売上総利益	10,425	36.0%	10,628	37.2%	+202	+1.9%
■ 販管費	10,344	35.7%	10,874	38.0%	+530	+5.1%
■ 営業利益	81	0.3%	-245	-0.9%	-327	—
■ 経常利益	245	0.8%	24	0.1%	-220	-90.0%
■ 親会社株主に帰属する 四半期純利益	65	0.2%	-73	-0.3%	-138	—

## ■ 連結売上高推移

- ・ 2023年2月に吸収合併した(株)エイチアイエムの売上寄与もありEC事業が伸長したものの、全般的に売上減。

⇒前年同期に対して1.2%減。



(単位：百万円)

## ■ 連結利益額推移

- ・ 価格改定により原価率が改善したものの、想定を上回る円安進行により大きな改善とはならず。
- ・ 新型コロナウイルス関連用品の在庫の処理や販管費の増加。

⇒ 営業利益、四半期純利益で損失を計上。



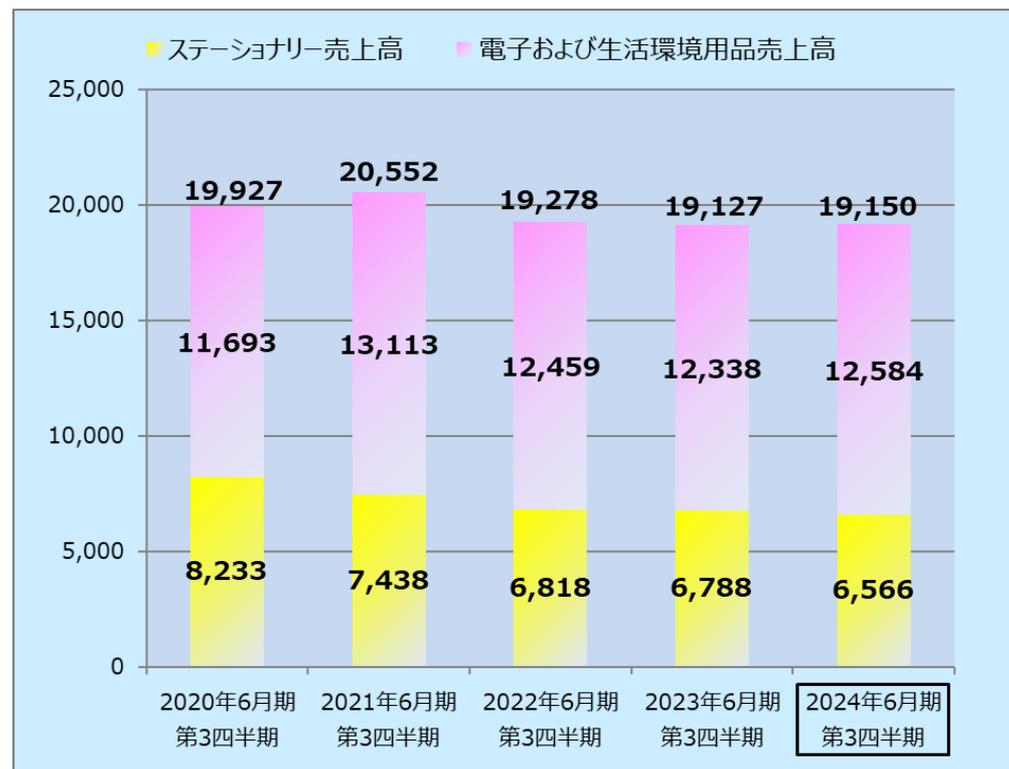
(単位：百万円)

## ■セグメント別 売上高推移

### 文具事務用品事業

・売上高：19,150百万円  
 (前年同期比0.1%増)

⇒手指消毒器「テツテ」の販売減があったものの、「テプラ」の販売が回復傾向にあることやEC事業の伸長により増収。



(単位：百万円)

## ■セグメント別 営業利益推移

### 文具事務用品事業

- ・営業損失：393百万円  
(前年同期は165百万円の営業損失)

⇒想定以上の円安や、新型コロナ関連用品の在庫の処理、販管費等の増加が影響。



(単位：百万円)

## ■セグメント別 売上高推移

### インテリアライフスタイル事業

- ・売上高：9,439百万円  
(前年同期比3.8%減)

#### ⇒(株)ぼん家具

主力の収納用品がキッズ向けをはじめとして全体的に堅調な売上を維持。

#### ライフオンプロダクツ(株)

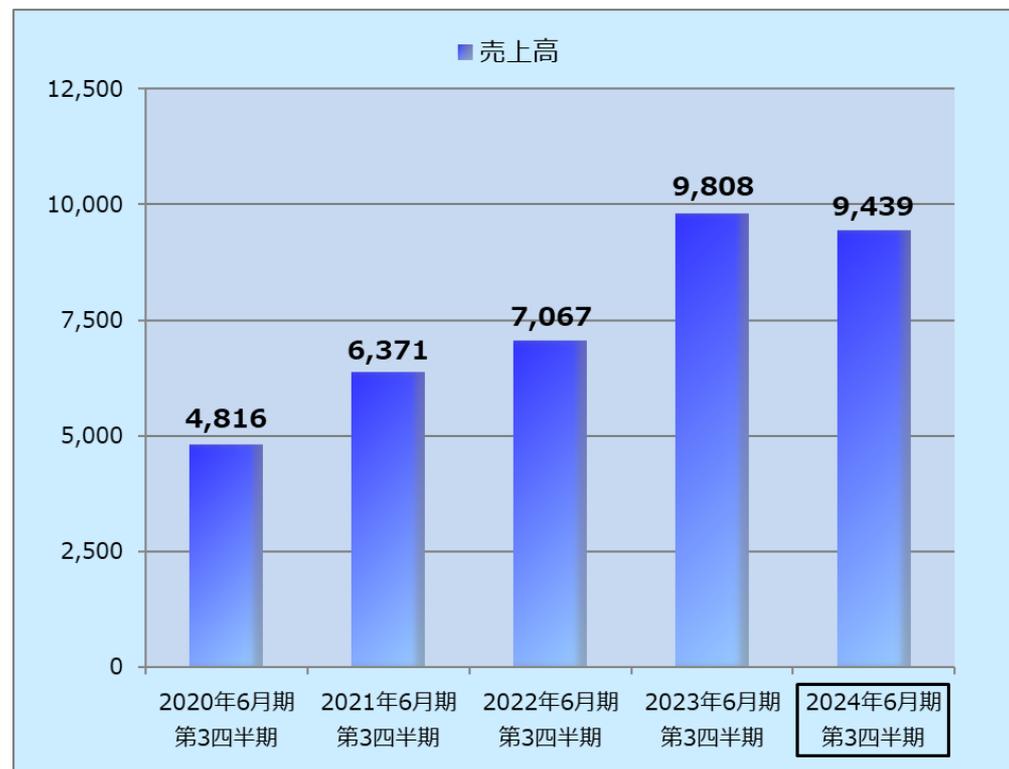
前年大口実績の反動減を好調なフレグランスなどでカバーし、前年を超える堅調な推移。

#### (株)ラドンナ

主力のキッチン家電が家電量販店や雑貨店などで苦戦した一方、EC販売では回復の傾向。

#### (株)アスカ商会

小売店向けの販売が不調だったものの、オフィス装飾やブライダル関連は好調に推移。



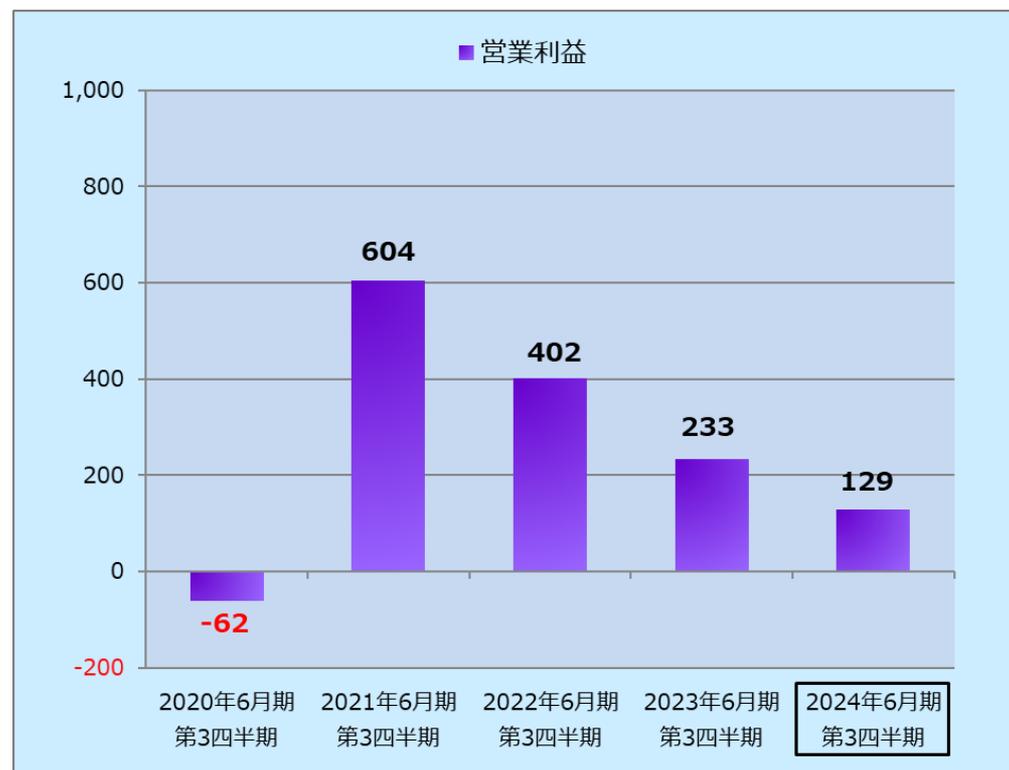
(単位：百万円)

## ■セグメント別 営業利益推移

### インテリアライフスタイル事業

- ・営業利益：129百万円  
(前年同期比44.4%減)

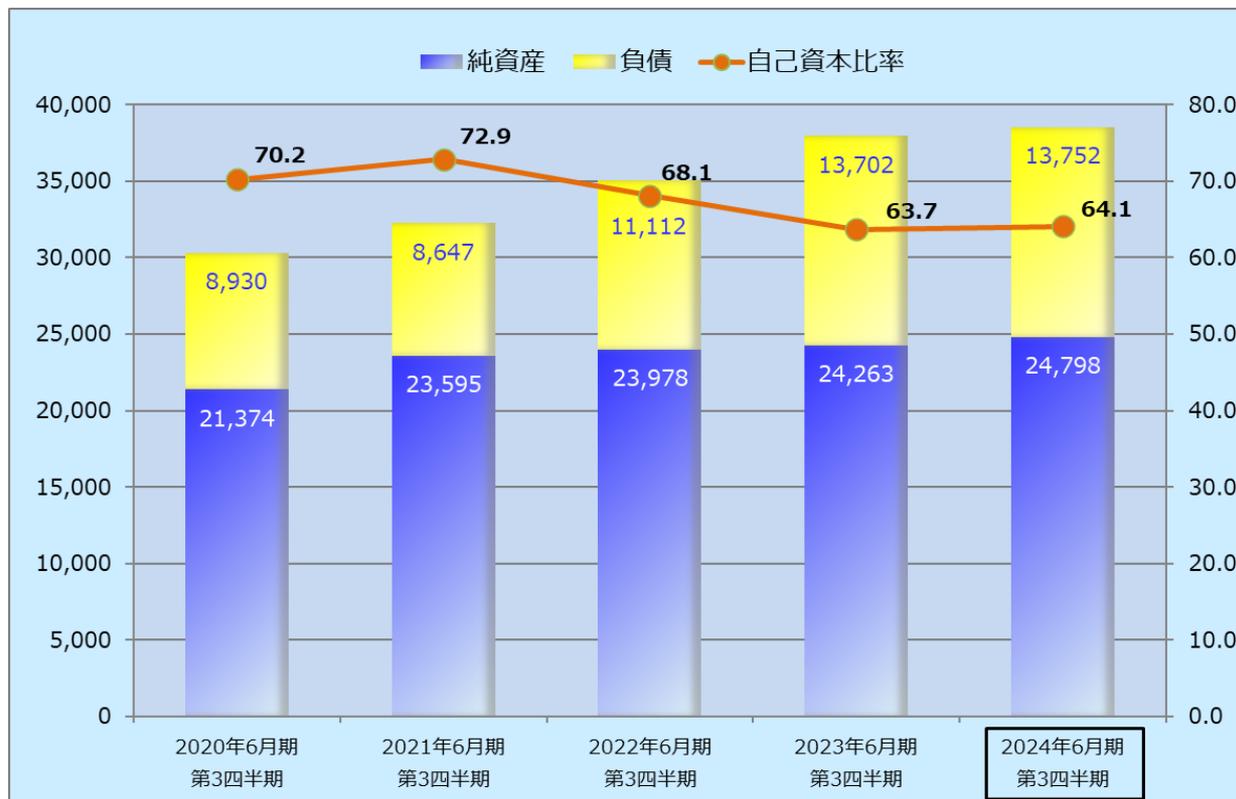
⇒値上げ効果や新製品の導入で原価率はやや改善したものの、売上減の影響が大きく減益。



(単位：百万円)

## ■ 連結 B / S および自己資本比率推移

- ・ 総資産：38,550百万円（前年同期差 +584百万円）  
⇒投資有価証券、売掛金、商品及び製品の増加。
- ・ 純資産：24,798百万円（前年同期差 +534百万円）  
⇒**その他有価証券評価差額金、為替換算調整勘定の増加。**
- ・ 負債：13,752百万円（前年同期差 +50百万円）  
⇒**運転資金需要等による短期借入金の増加。**
- ・ 自己資本比率：64.1%（前年同期差 +0.4pt）



(単位：負債・純資産…百万円、自己資本比率…%)

## 2024年6月期 通期連結業績予想

(単位：百万円)	2023年6月期		2024年6月期		対前年同期	
	実績	構成比	予想	構成比	増減額	増減率
■ 売上高	39,393	100.0%	40,000	100.0%	+606	+1.5%
■ 営業利益	368	0.9%	0	0.0%	-368	-100.0%
■ 経常利益	637	1.6%	280	0.7%	-357	-56.1%
■ 親会社株主に帰属する 当期純利益	419	1.1%	260	0.7%	-159	-38.1%

以下の施策等により業績の向上を目指す  
が、円安の進行によるコスト上昇の  
影響を見込み、増収減益の予想。

・「成長分野への注力」と「基盤事業の更なる強化」の方針のもと、文具事務用品事業・インテリアライフスタイル事業の両事業において、新製品開発と需要の掘り起こしにより企業価値の持続的な向上を図る。

・成長分野  
オフィス・生活環境用品やインテリアライフスタイル事業の分野を中心に新製品投入を積極的に行う。

・基盤事業  
「テプラ」の認知拡大・用途提案を目的とした販促・広告施策等を実施。

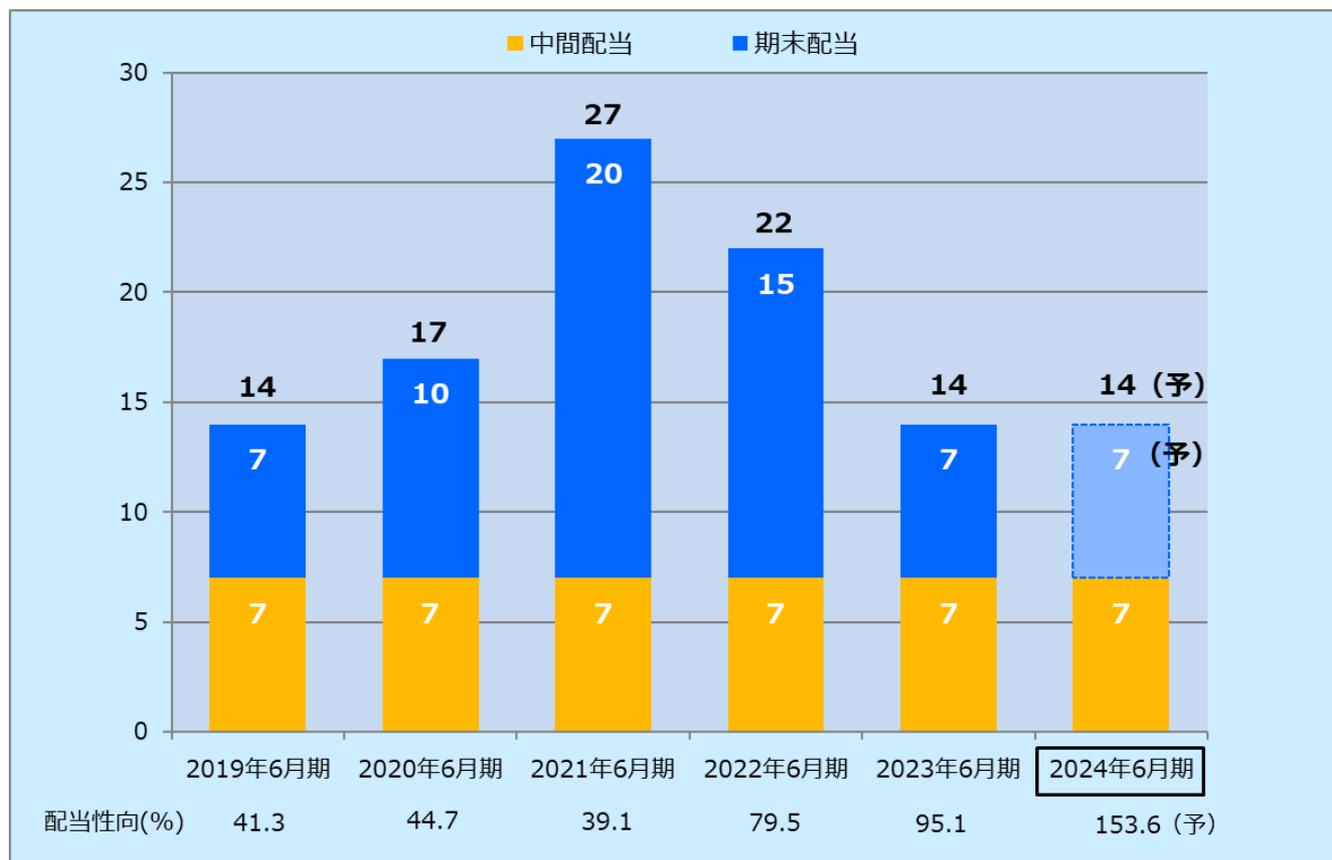
## 2024年6月期 通期セグメント別業績予想

(単位：百万円)	2023年6月期		2024年6月期		対前年同期	
	実績	構成比	予想	構成比	増減額	増減率
■ 売上高	39,393	100.0%	<b>40,000</b>	100.0%	+606	+1.5%
文具事務用品事業	25,933	65.8%	<b>26,600</b>	66.5%	+666	+2.6%
電子および生活環境用品	16,863	42.8%	17,100	42.8%	+236	+1.4%
ステーショナリー	9,069	23.0%	9,500	23.8%	+430	+4.7%
インテリアライフスタイル事業	13,460	34.2%	<b>13,400</b>	33.5%	-60	-0.4%
■ セグメント利益	368	0.9%	<b>0</b>	0.0%	-368	-100.0%
文具事務用品事業	-20	-0.1%	<b>-250</b>	-0.6%	-229	—
インテリアライフスタイル事業	370	0.9%	<b>240</b>	0.6%	-130	-35.3%

※注：セグメント利益については、各事業では「セグメント間取引調整前の数値」を記載し、合計は「セグメント間取引調整後の数値（営業利益）」を記載しております。

## ■ 配当方針

配当性向の基準を40%とし、安定配当することを目指す。



おどろき、快適、仕事と暮らし



本資料に記載している業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。